



特定行為研修修了までの養成計画 (履修免除を含む) について



鹿児島大学病院
看護師特定行為研修センター
福元幸志

病院概要



1974

桜ヶ丘に移転して50年。
時を経ても、わたしたちの使命と情熱、
大切なものは変わりません。
新しく生まれ続ける技術を未来のために、
生まれ変わった大学病院は
皆さんと共に歩み続けます。

新生。
次の50年へ



鹿児島大学病院
Kagoshima University Hospital



2024

病床数	653床 (一般612床・精神40床・感染症病床1床)
入院基本料	一般7：1　精神10：1
職員数 (看護師数)	1746名 (731名)
平均在院日数 (稼働率)	10.6日 (86.6%)

特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院、鹿児島県肝疾患診療連携拠点病院、救命救急センター、第一種感染症指定医療機関、災害拠点病院、原子力災害拠点病院、**看護師特定行為指定研修機関**　等

看護師特定行為研修センター（2016年8月）

2016年5月に看護師特定行為研修センター設置

看護師特定行為研修センター 職員配置

職 名	業務内容・従事割合
センター長 （救命救急センター長・教授 兼務）	センターの統括
副センター長 （副救命救急センター長・准教授 兼務）	
センター主任 （研修責任者・特定行為研修修了者）	研修責任者 （専従）
センター職員 （特定行為研修修了者）	（専従）
センター医療技術補佐員	（非常勤）

看護師特定行為研修センター研修内容

- **在宅・慢性期領域** パッケージ
- **外科術後病棟管理領域** パッケージ
- **術中麻酔管理領域** パッケージ
- **急性期** コース（術中麻酔管理領域P＋区分別科目）
- **感染** に係る薬剤投与関連
- **血糖コントロール** に係る薬剤投与関連

各5名定員

- 主に特定看護師（専従2名）が講義・演習・実習を行う
- 実習は研修生の自施設で原則的に実施

特定行為研修修了者数と配置状況

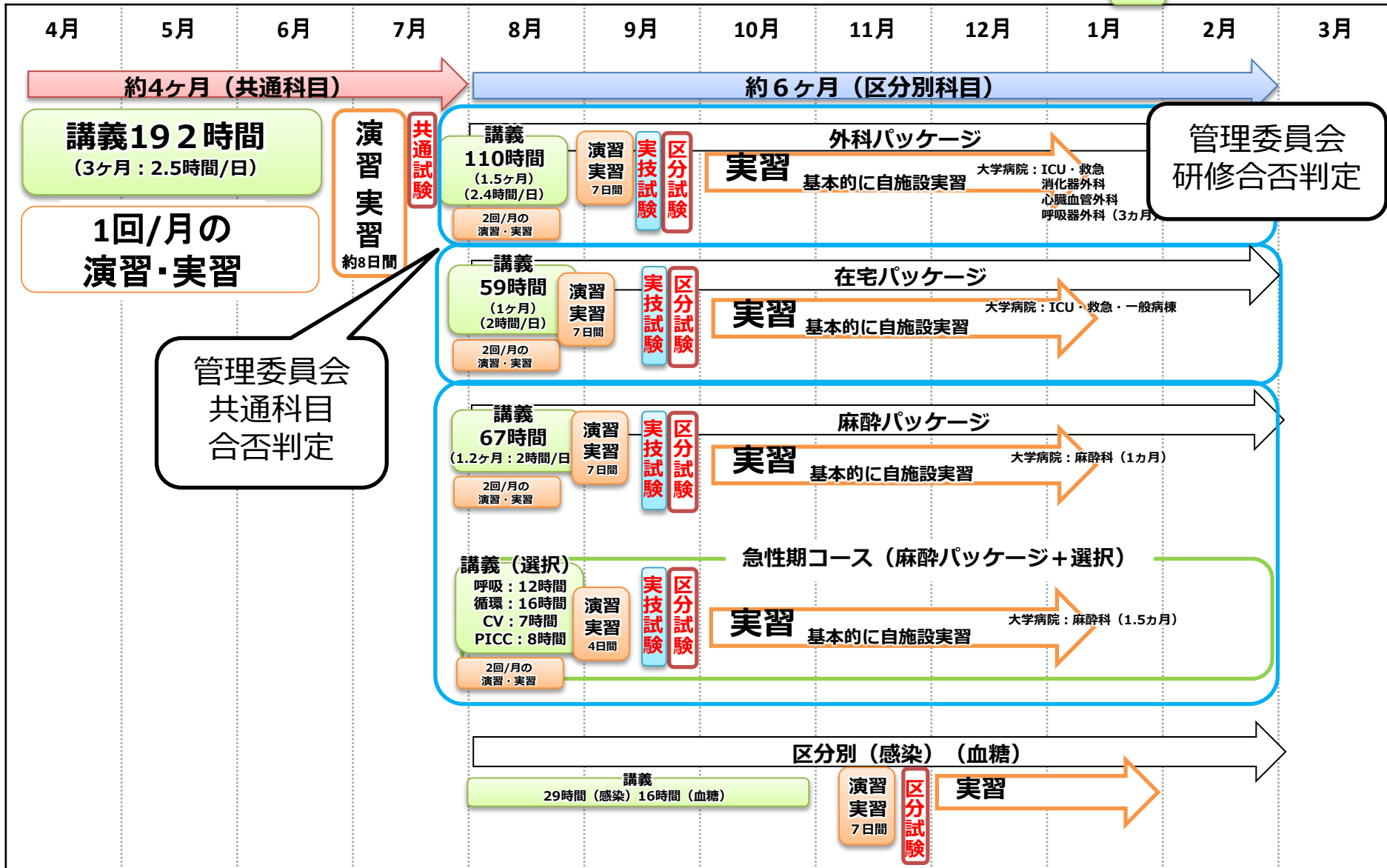
配置部署	人数	修了区分
看護師特定行為研修センター	2	・ 21区分（NP教育課程修了者） ・ 外科パッケージ、呼吸・循環・感染
外来	2	・ 創傷管理・皮下ドレーン・栄養（皮膚・排泄ケア） ・ 血糖コントロール（糖尿病看護）
感染制御部	1	・ 感染（感染管理）
救急集中治療部	1	・ 21区分（NP教育課程修了者）
手術部	4	・ 麻酔パッケージ（手術看護）
ICU	4	・ 外科パッケージ ・ 麻酔パッケージ ・ 呼吸・循環
救急	4	・ 外科パッケージ ・ 麻酔パッケージ ・ 呼吸・循環・栄養（クリティカルケア）
外科病棟（循環器）	1	・ 外科パッケージ
外科病棟（呼吸器）	1	・ 呼吸・循環・感染（クリティカルケア）
外科病棟（消化器）	2	・ 外科パッケージ ・ 栄養（緩和ケア）

組織定着化支援事業への取り組み

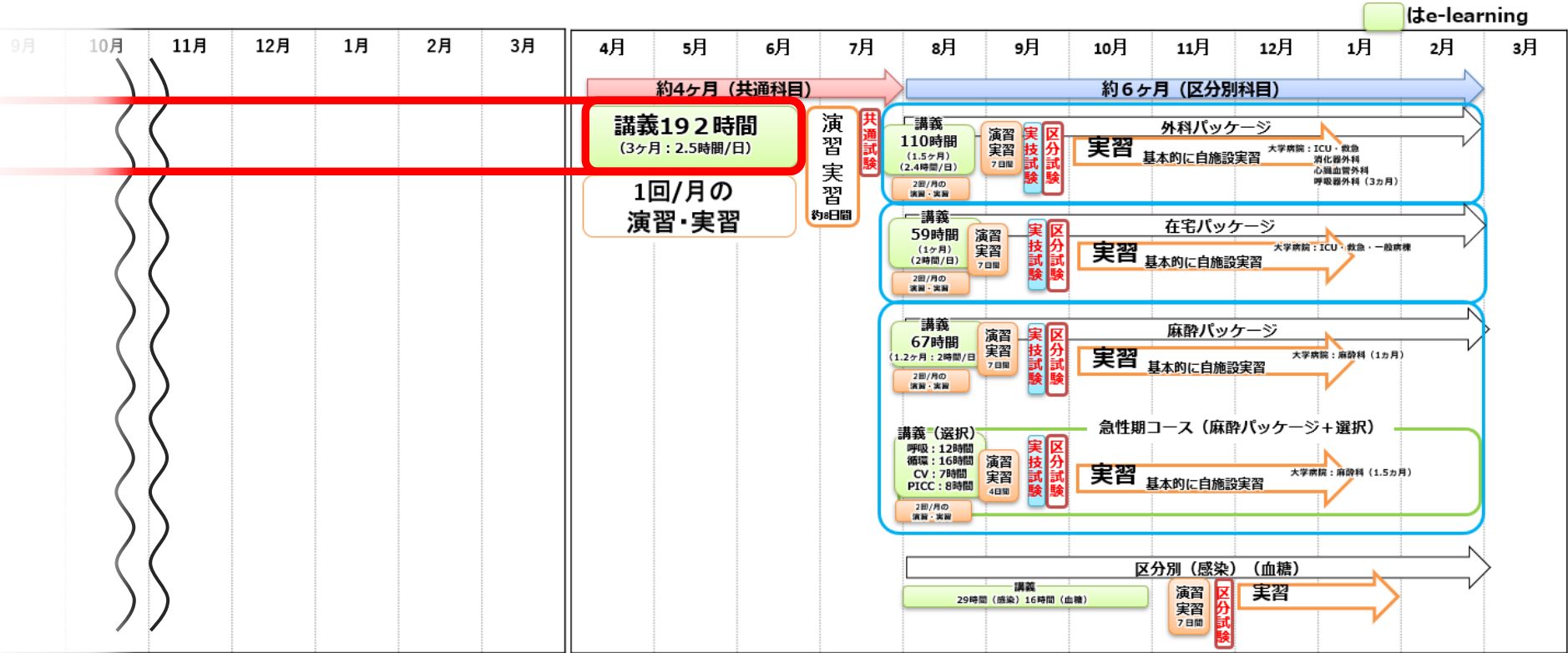
- 養成計画（履修免除を含む）について
- 特定行為研修修了者の活動を推進するための取り組み

養成計画（履修免除を含む）について

はe-learning



養成計画（履修免除を含む）について



共通科目の受講機会提供（2023年度）

実施要項

少なくとも卒後3年以上の経験を有する看護師の20%が共通科目の受講を開始すること。



師長会で呼びかけ、**210名**の希望者
受講希望者に対しe-learningのIDPassを配布



e-learning受講は自己学習で視聴することとした。

共通科目の受講機会提供（2023年度）

210名の受講状況を定期的（2月程度）にチェックし
進捗状況を確認

受講が進まない場合には声かけや時間確保も検討
されたが順調に視聴は進んだ

結果

卒後3年以上の経験を有する看護師（433名）

共通科目の受講希望者（210名）

100名が共通科目の受講開始

（100名/433名 = 23%）

受講機会提供結果（2023年度）

3名が2024年度の特定行為研修を受講

外科術後病棟管理領域パッケージ

1名

急性期コース（術中麻酔管理領域パッケージ＋区分別）

2名

受講者3名の4月研修開始時の共通科目受講状況

28時間視聴者

区分別の内容を理解を深めたい時に振り返りできた

5月16日時点で共通科目を全て視聴した

79時間視聴者

病棟の研究や認定の講義のスライド作り等で、集中講義ギリギリに終わった（認定看護師）

170時間視聴者

早く始められたことで、気になるところが再受講が出来た

視聴タイミングを早めることで少し余裕ができた

共通科目の受講機会提供（2024年度）

実施要項

卒後3年以上の経験を有する看護師の5%が共通科目のうちいずれか1科目の受講を当該年度末までに終了すること。

視聴時間が30時間を超えるため、**看護部キャリア開発**と連携し研修会として参加を呼びかけ（30名参加）

研修会内容（臨床推論） 11月、12月、1月、2月の計4回

午前 e-learning3時間

特定行為研修指導者によるe-learning質疑応答、事例振り返り 40分

午後 e-learning3時間

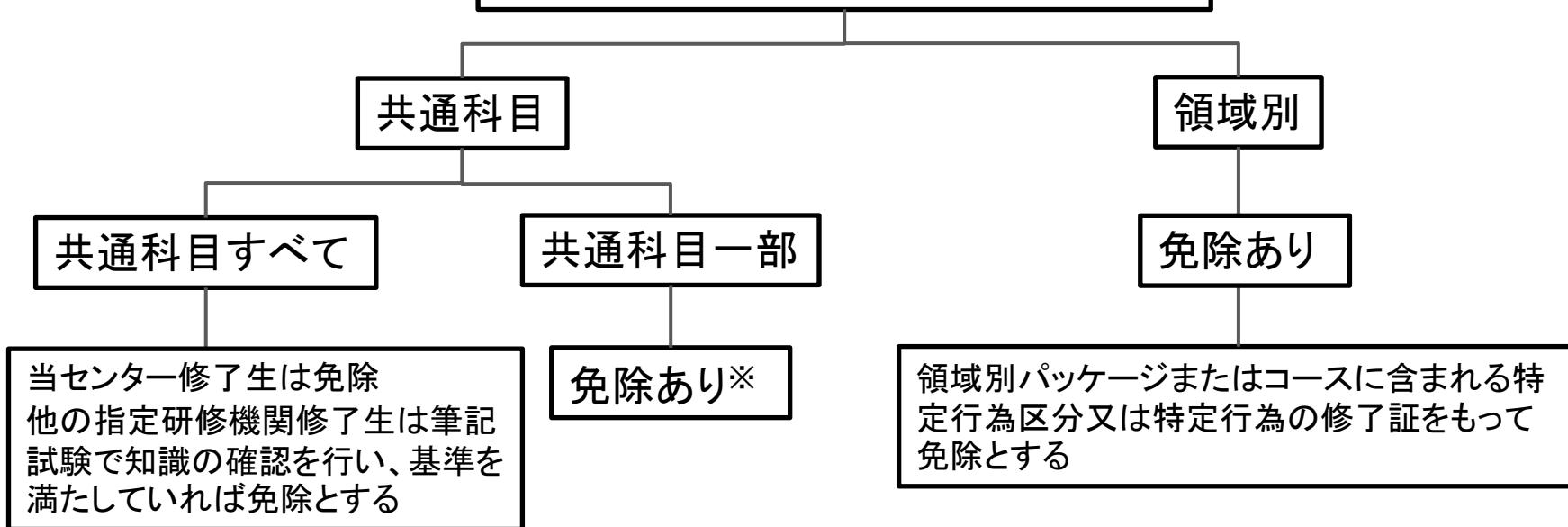
特定行為研修指導者によるe-learning質疑応答、事例振り返り 40分

残り11時間は自己学習

特定行為研修の指導者が研修を行うことで、特定行為研修内容を理解し
共通科目を受講した看護師が特定行為研修の受講に進みやすくなるのではないかと。

履修免除について

研修の免除について



※当院から研修開始以前にe-learningのIDを配布され、研修開始までに受講した講義については、特定行為研修共通科目e-learningを受講したものとみなす。

問題点・検討事項

- ・何年(視聴後)まで認めるのか
→未定、受験者個別に委員会の中で判断する
- ・免除のために習熟度を測るための手段は
→e-learning1コマずつに判定するのは非現実的、共通科目筆記試験での判定

履修免除以降の内容について

代謝性アシドーシス (乳酸↑)

q-SOFA 3/3点

Bp 70/50 ↓ 敗血症の

RR 25 ↑

JCS: II-10 ↓

23.5

pH: 7.182

PaO₂: 76

PaCO₂: 50

BE: -8.4

乳酸: 5

7.35-7.45

90

35-45

0±2

創部感染 疑い # 縫合不全

創部感染 疑い

肺炎

尿路

CRBSI

PaO₂ 60 = SpO₂ 90

DIC

CPK 9677 ↑ 筋力がこわす

Cr 2.87 ↑ 腎↓

CRP 13 ↑ 炎症

PT 31 ↑ 血が止まり

APTT 83 ↑ にくそう

フィブリゲン 93 ↓ あり

FDP 218 ↑ のりがとれた

Hr 315/b ↓ 腎↓

以降は通常の研修と同様

研修修了者の養成目標

呼吸・循環に強い看護師の育成

→急性期コース（術中麻酔管理領域パッケージ＋区分別）

各病棟に配置 30名程度を目標

特定行為研修受講促進のため

受講しやすい環境

研修費用は全額5年猶予後免除

研修は出勤扱い

特定看護師手当

周知関連

特定看護師活動報告

学習会開催・カンファレンス参加

特定行為研修説明

研修希望者は**多くはない**現状

あくまでも特定行為研修受講は自己希望

まとめ

特定行為研修開始～活動に大事なもの

